



第4戦

FUJI GT 300km RACE

富士スピードウェイ

予選 8月1日(土)

天候：晴れ コース状況：ドライ



予選：11位

朝から気温がぐんぐん上昇する富士。気温33℃の10時30分に始まった公式練習では、ブリヂストンの持ち込んだタイヤがよくマッチングし、セットアップもほぼ決まり混走の時間帯では1分38秒482で5位。GT300の専有走行枠ではトップ車両とは0.100秒差の1分37秒889で2位につけ予選への期待が高まった。

気温32℃、路面温度45℃の14時20分から公式予選Q1がスタートした。HYPER WATER INGING GR86 GTは15台からなるA組に区分。雲が増えやや日がかげったがQ1を担当したト部和久は、計測5周目に1分37秒854をマークして3位に入り、上位9台が進出できるQ2へ駒を進めることになった。

Q1の上位18台でグリッドを争うQ2は15時13分にスタート。堤優威は計測4周目にアタックをかけたが、アタックをやめた車両に引っかかりタイムロス。1分37秒092で9位にとどまった。堤はその後アタックを続けようとしたが、タイムアップが望めそうになくそのままピットイン。その間に2台の車両にベストラップを更新され、明日は11番グリッドからのスタートとなるが、上位フィニッシュを目指しチーム全員で決勝レースを戦う。

2日の300kmレースは、13時30分にスタート予定。





ドライバー 堤 優威

「アタック中に前のクルマが避けてくれずタイムロスをしてしまいました。50kgというウェイトの影響はありますし、もっと厳しい内容になるのではないのかなと思っていましたが、今回選んだタイヤが路面に合っているので悪くはないと思います。予選順位は予想より下になってしまいましたが、明日は決勝で頑張ります。前回より距離が短いのでちょっと厳しいかもしれませんが、ト部選手も調子が良いので期待しています」

ドライバー ト部 和久

「アタックは4周目だけかけました。日がかげって路面温度も下がったので、セクター1から2ではフロントタイヤのウォームアップが満足ではなく、13コーナーあたりで良くなって来たかなという感じで納得のいくアタックではなかったのですがQ1は通れました。合格点ではあると思いますが課題も残りました。このインターバルでクルマも新しい試みを採り入れてあり、フィーリングも良く支えてくれる方々に感謝です」



監督 加藤 寛規

「前回とはコンディションも大きく変わった中、ブリヂストンが新しいタイヤを投入してくれてこれがすごく良かったですね。ロングランも調子良いですが、天気がどうなるかも含めてなかなか読みづらいです。11番スタートにはなりましたが上位進出へのチャンスはあると思っています。給油リストラクターの制限でピット滞在時間が長くなりますが、ドライバーはふたりとも頑張っていますし、チームは良いクルマを作ってくれたので今回は表彰台に上りたいと思っています。」

